電気

普通に暮らせる日常の基盤を「彩る」こと、それが電気職の使命です―

平成２５年度採用

初任地
【出先機関】鮫川水系ダム管理事務所（いわき市）
現所属（※令和３年度時点）
【本庁】総務部 施設管理課（福島市）

志望理由

生まれ育った故郷で、復旧・復興に携わりたい

福島県いわき市で生まれ育ち、高専に通っている時に東日本大震災を経験しました。
自分の生まれ育った故郷で、学校で学んできた電気の知識を生かし、ものづくりを通して復旧・復興に携わる仕事がしたいと思い志望しました。

仕事内容やりがい

専門的な技術とスキルで県庁舎を支える

県庁舎全体の電気や空調、給排水、エレベーターなど各種設備の維持管理業務を担当しています。主に、庁舎内の利用者が安全・安心に利用できるよう、メンテナンス業者と協力しながら、専門的な技術とスキルで県庁舎を支える仕事です。
福島県の電気職は、電気設備の業務はもちろんのこと、機械設備の業務も経験することができるので、両方の知識を習得しながらスキルアップできるのが魅力的です。
急な設備のトラブルや、利用者からの難しい要望等で、仕事が思い通りに進まないこともありますが、その中で、設備を改修して、利用者から感謝の言葉をいただいたときはやりがいを感じます。

産休育休

ワークライフバランスを実現

令和２年４月～令和３年６月まで、産休・育休を取得しました。職場復帰直後は、私に、家庭と仕事の両立はできるのだろうかとても不安でした。
実際は、子どもの保育園への送迎により業務時間が限られることや、急な発熱で仕事を休まなければならない場合もありますが、上司や職場の理解もあり、ワークライフバランスを実現できる素敵な職場です。

最後に一言

様々なことに挑戦できる職種

技術職は、女性がまだまだ少ないのが現実ですが、少しでも、同僚・後輩が増えることを願っています。職業を選択する上で、「どんな仕事をしたいのか、選んだ仕事は自分に合っているのだろうか」などいろいろ悩むこともあると思います。福島県の技術職員は、様々なことに挑戦することができ、また、困ったときには、助けてくれる先輩職員がいます。